

地域医療連携だより

きずな



皮膚科

皮膚科は皮膚悪性腫瘍等の切除、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹、尋常性乾癬などの生物学的製剤による治療、帯状疱疹の入院加療などを積極的に行っていますので、ぜひ紹介していただければ幸いです。

外来担当

外来	月	火	水	木	金
午前	水野／安田／下山				
午後	手術・光線・検査				

皮膚科
HP



外来
担当表



スタッフ紹介



主任部長

水野 尚

(みずの たかし)

皮膚科専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医
臨床研修指導医



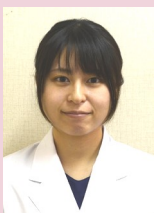
医師

安田 綾子

(やすだ あやこ)

【専門分野】

皮膚全般



医師

下山 奈穂

(しもやま なお)

【専門分野】

皮膚全般

積極的にご紹介いただきたい疾患

■ 皮膚悪性腫瘍等の皮膚腫瘍

高齢で皮膚癌を心配される患者さんや、若い方でも手掌足底のほくろを気にされて来院する患者さんも多いです。ダーモスコピーと呼ばれる特殊な拡大鏡を使って良性疾患との鑑別を行い、疑わしければ切除をおすすめさせていただきます。

■ 生物学的製剤で治療を希望するアトピー性皮膚炎、蕁麻疹、尋常性乾癬

最近アトピー性皮膚炎や蕁麻疹、尋常性乾癬に対して、デュピルマブ(デュピクセント)などの新しい薬が使えるようになってきました。かゆみや赤みが減り、睡眠改善など患者さんのQOL(生活の質)向上につながります。ただし、対症療法であるため、薬の処方中止すると症状が再燃する場合がありますので、継続した治療が必要になります。

■ 帯状疱疹

時に重症化し、夜も寝れないような強い神経痛が残ることがあるため、早め入院して抗ウイルス薬による治療を行います。

○ 2020年度皮膚科手術件数

皮膚良性腫瘍手術件数 (単位:件)

色素性母斑	25
粉瘤	21
脂漏性角化症	12
汗腺腫瘍	4
石灰化上皮腫	3
軟性線維腫	2
脂肪腫	2
尋常性疣贅	2
その他	16

皮膚悪性腫瘍手術件数 (単位:件)

基底細胞癌	10
ボーエン病	9
有棘細胞癌	6
悪性黒色腫	6
日光角化症	5
ケラトアカントーマ	3
乳房外パジェット病	2

その他、ご不明な点はお気軽に当院にご連絡いただきご相談ください。

「心エコーの検査依頼」を新たに追加しました

令和4年1月から心臓超音波検査の依頼(心エコー検査)をお受けできる体制を整備しました。検査結果は実施後に読影レポートを郵送させていただきますので、ぜひご利用ください。

心エコー検査とは？

心エコー検査とは、超音波を用いて心臓の動きや構造、心臓内の血管の形や血液の流れを観察する検査です。心臓に向けて超音波を当てて画像に写し出し、その画像を用いて心臓の大きさ、形、壁の厚さ、動き方、弁の状態、機能を調べます。

心エコーでは、心筋症、弁膜症、虚血性心疾患、先天性心疾患などの診断に用いられます。



▲ 臨床検査技師による超音波(心エコー)検査

検査にかかる時間は？

約**20～30分**

※患者さんにより前後することがあります。

予約方法

ご予約は同封の『FAX予約診療申込書』にご記入のうえ、予約センターにご送信ください。

小田原市立病院 予約センター
FAX:0465-34-3180

<今回の取組みについて>

地域の医療機関の皆様との連携をより良くするための取組みとして、今までお寄せいただいた多くのご意見の中から今回の整備をさせていただくこととなりました。日頃より地域医療のために貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。今後もさらに取り組んで参りますので、引き続きよろしく願いいたします。

入退院支援センターの充実

入院前の栄養相談お受けいたします

栄養状態が良くなることで術後の回復が促され、感染症などの合併症も予防されることが知られており、栄養状態を少しでも良くして入院治療や手術を受けることが大切になります。

そこで、栄養に不安のある方(食事がとれない、体重が減ってきたなど)を対象に、入院前に栄養士による栄養相談を行うことができる体制を整備いたしました。



遠藤 栄養科係長

入院前のお薬ご確認いたします

安心してご入院いただくために、入退院支援センター専門の薬剤師が、入院前の説明に加えて、普段処方されているお薬(市販薬やサプリメントの問診なども含む)の確認や、入院中に必要な薬剤の相談ができる体制を整備いたしました。さらに入院して確実に手術や検査などの治療が受けられるよう、手術や検査の前に服用を中止すべき薬剤のスクリーニングも併せて行っております。



田中 薬剤科部長